

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立貴志中学校
校長氏名	高木 敏博
作成日	令和2年3月3日

1 教育目標

豊かな心情と思いやりの心を持ち、自ら考え、ねばり強く実践する生徒を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力量習状況調査、和歌山県学習到達度調査の正答率がそれぞれ平均を上回る。 ・生徒質問紙において「わかる授業」を8割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートにおいて「学校が楽しい」の項目を9割以上にする。 ・いじめの早期発見を徹底的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻ゼロを目指す。 ・生徒アンケートにおいて「社会のルールを熱心に教えてくれる先生がいる。」の項目を8割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにおいて「中学校は教育内容や行事を保護者や地域に伝えている」の項目を8割以上にする。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導及びより良い学習環境づくり ・基礎基本の確実な定着 ・新学習指導要領に向けた授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・いじめのない集団づくり ・規範意識の向上 ・体験活動等で豊かな心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・体力の向上 ・情報モラルの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「貴志の教育を高める会」活動に充実 ・家庭、地域との連携充実 ・共育コミュニティとの連携充実
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態の工夫 ・授業改善の推進 ・学生ボランティア活動の充実 ・朝学の徹底 ・家庭学習の推進 ・授業改善のための外部講師の招聘 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを複数回行い、その後の教育相談で未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。 ・道徳教育推進教師を中心に道徳教育の活性化を図る。 ・より良い学級集団づくりのため、QUの活用を図り、外部講師を招聘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒指導だより」等を通じて、生徒への基本的な生活習慣を促す。 ・体育的行事の充実を図ると共に計画的に体力の向上を目指す。 ・適宜に情報モラル教室を行い危機回避能力を育成する。 ・県警によるキッズサポートにより規範意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、保健便り、貴志中の輝き、学年便り、学級通信等による保護者や地域への情報発信。 ・「貴志の里展」を通して、地域との絆を更に深める。 ・学校行事への保護者の参加協力を積極的に推進する。 ・学校運営協議会を通じて地域と連携を密にする。
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領「主体的で対話的な深い学び」に向けての授業改善に取り組んだ。しかし、学校全体の統一性に欠けた。 ・各教科の特性を生かしながら、アクティブラーニングを取り入れ、生徒一人ひとりが理解し授業に参加できる指導の在り方を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QUを最大限に活用するために外部講師を招聘し全教職員で取り組んだ成果が出たように思う。 ・道徳科初年度においては道徳教育推進教師を中心に取り組めた。現職教育等を通じて全教員の取組把握を共通認識することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、防災訓練を3回行ったことは、生徒への防災意識を高めるのに効果があった。 ・全職員で授業中の巡回等を繰り返したことにより昨年度より生徒の規範意識が高まった。 ・教育課程の関係で行事の精選を行った。しかし、生徒の健全育成に関しては今後更に考慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、子ども会との交流及び連携をスムーズに図ることができた。そして、生徒理解を一層深めることができた。 ・学校行事等への保護者や地域からの参加協力は得られたが、尚一層の参加者の増加と地域からの協力が得られるよう広報の在り方については課題が残った。
次年度に向けての改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様に授業改善のための外部講師を招聘する。そして、更に生徒の学習理解や学習意欲向上への取り組みに尽力する。 ・教室で授業を受けることの困難な生徒の学習意欲を高めるため、学習環境整備や人材確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QUの取り組みを年度当初に行い「より良い学級集団づくり」に取り組むたい。 ・道徳科2年目になるので各教科への特性を生かして取り入れるようにする。 ・生徒会主催の「挨拶運動」を更に活性化させ豊かな心の育成に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を行う際には、生徒への意識づけを更に向上させたい。また、地域のハザーマップ作製にも取り組むたい。 ・SNS上のトラブルが頻繁に発生した。そのため事前防止、早期発見に努める。 ・体育的行事の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等への保護者の参加協力については「ぐるりんメール」を活用する。 ・生徒の地域活動への参加を更に拡大できるように取り組む。 ・共育コミュニティの活動を更に周知活用できるように取り組む。

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に向けての授業改善を今年度以上に取り組む。そして、教員の意識を向上させる。 ・生徒指導上の問題行動を繰り返す生徒への指導の在り方及び保護者、関係機関等との連携を更に強化する。 ・不登校生徒がスクールカウンセラーや子ども支援センターへの繋がりができるように取り組む。そして、登校できるよう尽力する。 ・図書ホールを更なる活用できるようにする。そして、生徒の読書離れを阻止するように取り組む。
